

養護施設児童の就労支援を実現

公明党 鈴木ひでし

今年6月の神奈川県議会

本会議において、黒岩祐治

知事に対し訴えていた、「児

童養護施設で育った子ども

たちへの就職支援」が問も

なく形となります。

県は現在、児童養護施設

を退所した子どもの就労に

まつわる課題を解消しよう

と、関係機関で協議する「施

設退所児童のための就職支

援検討会（仮称）」の設置

を進めており、年明けの発

足を目指しています。

ミスマッチ解消へ

県所管の児童養護施設で

は、毎年30〜50人が高校卒

業後に退所。そのうち就職

希望は約7割に上ります。

援を行ってきました。

しかしながら、「あすなる

」では、①理解のある事

業主と退所者を結びつける

仕組みが無い、②事業主に

退所者を理解してもらう場

や機会がない、③就労と住

む場所が同時に確保できな

い——といった現実の力べ

に直面していました。

その背景には、雇用企業

が、施設を出て自立する子

どもたちが抱える課題を理

解できていないことや、雇

用先と子どもたちをマッチ

ングさせる仕組みが無いこ

となどがあります。

自立支える検討会

そこで私は、本会議で、「児

童養護施設の児童を雇いた

い」という企業を県が募集

し、就労意欲のある子ども

とマッチングを図るべきと

主張。円滑に自立できるよ

う、新たな取組の必要性を

訴えていました。

県主体の検討会は、ハロ

ーワークを所管する厚生労

働省神奈川県とあすな

る等で構成。①退所者と事

業主とのマッチングのあり

方、②退所者の特徴や配慮

すべき点などを事業主に理

解してもらうための取組

③就労と住居の確保を合わ

せて進める方策——などに

ついて話し合う方針です。

検討会で具体的な支援を

考えていくことになりました

が、子どもたちの明るい未

来につながるよう、取組を

見守るとともに、全国に広

神奈川県議会議員4期
環境農政常任委員会/安全安心推進特別委員会

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>

Twitter https://twitter.com/suzuki_hideshi

ml_suzuki-cti@labo2.sere.jp

開。子どもたちの就労支
14年、「あすなるサポート
ステーション」（藤沢市）を
学校に事業を委託し、20
社会的自立を支援するため、
社会福祉法人白十字会林間